

日本共産党

藤本ひろしの市議会報告

新！藤本ひろしのブログ 検索窓へ 市会議員藤本博司と打ち込んでください

NO 23

2010.5.31

発行

日本共産党岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5(電話 22-2245)

市会議員 藤本博司

岩国市麻里布町1-8-27

電話・FAX：22-3009

3月議会報告

報告が遅くなりました。

3月議会は603億円の予算と国保、介護保険などの特別会計398億円を承認して閉会しました。



市会議員
藤本博司



藤本ひろし
QR

日本共産党議員団は私が代表して、子供医療費助成、放課後児童教室整備、妊婦・乳幼児健診強化などの新設、継続などは評価できるが、厚木基地受け入れ、民間空港第3セクターへ6千万円の出資に反対する。愛宕山跡地売却も現状では米軍住宅になるのに、福田市長は売らないと言



参議院議員

仁比聡平

艦載機の岩国押しつけに反対して頑張っています。ご支援を！

党山口県委員

国政担当

木佐木大助

夏の参院選でがんばります。

わなない。保育園の保母さんなど正規職員を減らし続け非正規職員へ置き換えている。

就学援助制度を大改悪し対象者を大幅に減少させている。

同和問題では逆差別と

共産党提出、基地の運用時間を10時までにとの決議を全会一致で採択！

岩国市の

就学援助助成制度県下3位から10位に後退

受給率29%から19%へ激減

藤本議員は、岩国市の就学援助受給率が制度改悪のため大幅に落ち込んでいることが、山口県の資料から分かったため、次のように質問しました。

藤本市長は「子育てしやすい環境づくりをあげられ、岩国で子どもを産み育てたいと感じていただけの環境づくりにつとめてまいります。」と述べられていますが、受給者を

大幅に後退させてどうしてそう言えるのかと質問。



就学援助制度とは
 国の法律で所得の低い家庭の小・中学生にかかる給食費、学用品費（修学旅行費）等を助成するものです。
 岩国市は生活保護基準の1.3倍以下の収入しかない家庭が対象で、銀行振り込みで支給されます。自治体財源要。

07(平成19)年度			08(平成20)年度		
順位	市名	受給率	市名	受給率	
1	下関	34%	下関	34%	
2	光	31%	光	31%	
3	岩国	29%	山口	25%	
4	周南	25%	周南	25%	
5	山陽小野田	24%	柳井	24%	
6	山口	24%	山陽小野田	24%	
7	宇部	24%	宇部	23%	
8	柳井	23%	防府	21%	
9	下松	22%	下松	21%	
10	防府	21%	岩国	19%	
11	美祢	13%	萩	11%	
12	萩	11%	美祢	11%	
13	長門	10%	長門	11%	

算定基準をせめて収入から所得へ戻すべき

藤本議員は生活保護基準の1.5倍から1.3倍へ引き下げ、しかも算定基準を所得から収入へかえたことが低下の原因だ、せめて算定基準をもとの所得へ戻すべきだと提案。

文部科学省の資料によれば平成18(08年)年度全国平均13.6%で岩国市は減ったとはいえ18.7%で全国平均よりも高い認定率となつているので、山口県下で順位が低いということでは判断するのは、適切でないといふと不当な答弁でした。

は適切でないー市答弁

山口県順位で判断

基地依存財政からの脱却を

藤本ひろしの一般質問から

藤本議員は1

月の沖縄名護市長選挙で、辺野古沖基地反対の候補者の

稲嶺さんが勝利した背景に

膨大な基地関連補助金が

ありながら、それが地元業者に仕事

が回るどころか、業者の倒産

が4年間で20社にも及んでいる。

失業率も非常に高い。こうした市民生活への

影響は甚大である。

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

岩国基地受注率

こんな低い岩国基地受注率
関連工事の地元受注率

年度	件数率	金額率
04	53%	15%
05	31%	12%
06	13%	4%
07	2%	1%
08	11%	8%

3月市議会で他会派議員への答弁から(岩国市)

不満が爆発した結果だ。として名護市、岩国、三沢での基地関連予算の一

基地内5ヘクタールの
用地返還を正式に文書で出すべき

2月8日久米県議と防衛省へ調査に行きました。このとき防衛省の岩国担当者は5ヘクタールの基地内返還用地の返還要望は正式には出されていないと明言しました。

般会計の中での比率などを質問し、基地依存財政からの脱却を訴えました。答弁は「適切に運用してまいりたい」として脱却する気がないことを示しました。

無通告爆音の理由不明
基地関連専門職員配置を

岩国市の機構改革を機に、基地政策課に基地問題の専門職を配置するべき

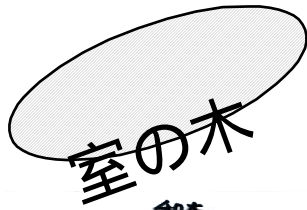
この点をなぜ正式返還要望を出さないのかと質問しました。基地内ペリースクール移転を調整中と答えるだけで、返還要求は明言しませんでした。

自治体の一般会計の中での比率

岩国市	42億	6%
三沢市	50億	24%
名護市	58億	22%

06(平成18年決算) 総合政策部長答弁

3月初めの無通告での滑走路の運用も、基地は運用上の問題として原因を岩国市に伝えない。そうした場合でも、市民へ情報提供をすることは岩国市の責任です。国や米軍の説明を繰り返すだけでは、市民の立場とは言えない。状況がわかる職員を配置すべきだ。配置しないと答弁。



本谷川の砂防堰、県土木が 5月～12月に調査！

麻里布中学校裏の本谷川上流に砂防堰が新設されること明らかになりまして。

住民の方から要望が寄せられ、昨年9月市議会で改修を要望していたものです。その後、地元から改めて市に要

設置予定の場所



土砂に埋まった堰

望書が提出されました。

このほど県土木事務所から自治会へ回覧版がまわり、5月から12月へかけて、設計のための測量、ボーリング調査、工事用道路の取り付けなどを行うことがわかりました。工事は和木町瀬田地区から山越えで行うそうです。



健康上の理由で今期で議員を勇退します
今度は坪田さんへご支援をお願いします

2期7年間（落選を含め11年間）みなさまには大変お世話になりました。10月に市議選がありましたが健康上の理由で勇退することになりました。私に代わって坪田恵子さんが出馬を予定しています。ご支援をよろしく願います。

坪田恵子

元市議

略歴

1959年（昭和34年）新潟県生まれ。97年由宇町議3期、合併後7カ月岩国市議。由宇町港在住

担当地域・由宇町、麻里布中校区、東中校区、小瀬、柱島

市議会議員 藤本ひろし

2010年5月15日

私は勇退はしますが基地、爆音問題など政治活動は引き続いて頑張ります。議員さんへの橋渡し役も行います。なんでも気軽に連絡して下さい。

10月の市会議員選挙で勇退します

— 2期7年余大変お世話になりました —

2003年4月の合併前の選挙で松田さんの後任として、みなさまのご支援で初当選させていただきました。2006年1市7町村が合併し、7カ月の在任特例後10月に最初の市議選があり、大激戦の中で2期目の当選を果たさせていただきました。2期7年余の間地域のみなさまに支えられ頑張ることができました。本当にありがとうございます。3月議会で議員定数が2議席削減となり32名の定数となります。新たに立候補がうわさされている方が新人・元職など10人程度がおります。選挙は多数乱戦になる可能性があります。可能なが大きいです。

なさまに支えられ頑張ることができました。本当にありがとうございます。3月議会で議員定数が2議席削減となり32名の定数となります。新たに立候補がうわさされている方が新人・元職など10人程度がおります。選挙は多数乱戦になる可能性があります。可能なが大きいです。

この夏7月に参議院選挙があり、その後10月24日投票予定で合併後2度目の市会議員選挙があります。

これまで松田さんや私に寄せられたご支援を今度は古谷さんへ

松田さんや私をご支援くださったみなさん、今度は古谷さんへ大きなご支援をお寄せくださるようお願いいたします。



古谷清子

市議

略歴

1952年(昭和27年)周東町生まれ。95年周東町議3期、06年岩国市議当選。周東町上久原在住

担当地域・由宇町、和木町を除く旧玖珂郡、岩国、錦見、川西、横山

市議会議員 藤本ひろし

2010年5月15日

下さい。

議員は勇退しますが政治活動は引き続いて頑張ります。現職議員さんへの橋渡し役も行います。なんでも気軽に連絡して下さい。

今後も基地問題、爆音訴訟、党活動の分野で頑張ります